

開催日及び場所	令和3年3月25日(木) 阿賀町役場 多目的ホール	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・議事 抽出案件等の審議について 請負工事落札状況について 入札監視委員会委員の委嘱について 次回委員会日程等について その他	
委 員 (委員数 3名) (出席数 3名)	委員長 沢田 克己 委員 二岸 直子 委員 齋藤 修平	
審査対象期間	令和2年10月1日 ～ 令和3年2月28日	
抽 出 案 件	6 件	
制限付 一般競争入札	5件	① 阿賀津川中学校衛生設備改修工事(手洗い自動水栓等) (落札率 97.43%) ② クリーンセンター煙突補修工事 (落札率 97.30%) ③ きりん荘 Wi-Fi環境整備工事 (落札率 91.01%) ④ 林道五十沢線1号箇所災害復旧工事 (落札率 97.70%) ⑤ 汚泥再生センター基幹改良(機械設備)工事 (落札率 96.21%)
指名競争入札	-	
随意契約	1件	⑥ 船戸簡易水道計装機器修繕 (落札率 100.00%)
委員会からの 質疑、回答等	別紙のとおり	
委員会からの意 見、具申内容等	別紙のとおり	
そ の 他		

意見・質問等	回答等
<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ 副町長 6件の抽出事案、この委員会を通じ入札、契約手続きの公正な確保、透明性の向上に努めていきたい。また任期満了に伴う委員の委嘱について引き続きお願いしたい。</p> <p>あいさつ 委員長 日本全体では、相変わらず官製談合による逮捕者、有罪判決があります。官製談合が発生しているところはおそらく入札監視委員会がないところです。阿賀町でも官製談合が起きないように監視していきたいと思います。</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1)抽出理由について(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 審査対象調書から95%を超えるような落札率の高いもの、入札における1社入札のもの、随契100%のものを抽出。一般競争入札から5件、随意契約から1件それぞれ選定した。 <p>(2)事務局様式等報告(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 審査対象は令和2年10月から令和3年2月までの入札です。契約総数47件、内制限付き一般競争入札43件、指名競争入札該当なし、随意契約4件、苦情処理及び談合情報は事案なし、指名停止措置についても前回以降該当ありません。 令和2年度の下期状況について落札率95%を超える案件は制限付き一般競争入札では43件中32件、件数比74.42%、随意契約では4件中2件、件数比50%、合算すると47件中34件、件数比72.34%という集計結果になります。 1ページの発注工事総括表の当初契約額合計欄の単位が千円になっていますが、円でよろしいでしょうか。 <p>(3)抽出案件の審議について</p> <p>① 阿賀津川中学校衛生設備改修工事(手洗い自動水栓等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札額がかなり近いですが、水を出す蛇口の取替えということで、あまり差が出なかったのでしょうか。 <p>② クリーンセンター煙突補修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 点検は定期的なものなのでしょうか。今回の補修工事は定期的なものなのでしょうか。 	<p>千円は誤りです。円になりますので訂正をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本工事は新型コロナウイルス感染症対策事業として多数の利用がある学校トイレ手洗いの改修工事です。指の接触を軽減するなどの対策として、手を差し出すと水の出る自動水栓6箇所、肘などで開閉できる単水栓レバー式(横水栓スパウト回転式)5箇所、同レバー式(吐水口回転式)77箇所、単水栓13箇所をそれぞれ設置した内容です。 直接工事費がほとんど変わらないので、諸経費での差が結果につながったものです。 令和7年度のごみの中間処理施設の広域化までの間、施設の延命化を目的に、2年前の点検で指摘された箇所を補修するものです。内容はゴンドラを使った清掃、点検、塗装のほか、防食塗装で保護されている煙突内部の特に腐食の激しい部分についてステンレス材質の内巻材を取り付ける補修となります。 2年から3年で点検を行っており、この補修は2年前に点検して、そこでの指摘事項でした。定期的な補修工事は行っていないようです。

意見・質問等	回答等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の補修工事で広域化される令和7年度までもたせる感じでしょうか。 ・ クリーンセンターの維持管理は大変だと思いますが、契約した業者しか入ることができなんでしょうか。(施設を)作った時の流れで。 ・ 地域要件が新潟県内全体ですが、県内で工事できるのはこの業者さんだけでしょうか。 ・ 不思議なんですけれども、この業者が落札した案件は大抵1社なんですよね。何かありますか。 ・ 最初に建てた業者との関係、施設を充分熟知しているからこうやって入ってきて、取れるのではないのでしょうか。特殊な施設だけにメンテナンス等、知らない業者が入ってくると怖いところがあるのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点検により何もなければこのままでしょうし、指摘事項があれば都度の対応になるかと思います。 ・ クリーンセンターのように特殊性のある施設になりますと、修繕等の入札参加も決まった業者が手を上げるようなことになるのだと思います。今回も手上げ方式での入札となっておりますので、結果的に1社だけの参加となりました。 ・ クリーンセンター立上げの頃からメンテナンス等様々な工事を行ってきた経緯もありますが、随契としなかった理由としては、競争性を持たせるために県内要件として制限付きとしたところです。 ・ その地域でやってきた実績もありますし、この会社がどういった経緯で関わってきたのかはわかりませんが。 ・ 町としても結果的に施設を熟知している業者の方が安心して任せられます。
<p>③ きりん荘Wi-Fi環境整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無線LAN設備機器はメーカー指定していますが、両社の金額にかなりの差があります。この機器の性能に違いがありますか。 ・ メーカーも同じでしょうか。 ・ タブレット3台を同時に使用できるのでしょうか。 ・ 施設の入所者は何人ですか。 ・ この工事では、阿賀町の電気工事と違うわけですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は新型コロナウイルス感染症対策事業として、きりん荘の入居者と面会者の面談禁止が長期にわたることが見込まれることから、インターネットを活用した遠隔面談を行うために整備するものです。内容については本体主装置の各種モジュール、通信ユニット、回線・回路ユニット、デジタル多機能電話の設置、及び無線LAN設備の設置が主なものです。 ・ 無線LAN設備機器は両社とも同一のものです。 ・ 同じメーカーのものです。メーカー指定は、この工事だけでなく、例えば物品購入等についてもそのメーカーの特約店や代理店になっている場合、かなり金額が違ってくるようです。ここを除けば、両社に差はないので。 ・ 3台の同時使用は可能です。 ・ 定員は70人です。入院されている方もいるので65から70人は常に入所されています。 ・ どちらかといえば通信になります。通常の電気工事であれば町内業者による指名競争入札となります。
<p>④ 林道五十沢線1号箇所災害復旧工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金額は低いですが、業者としたりもっと入れるかもしれませんが、三川という地域柄もありますし、3社以上というのは難しいのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は、昨年7月に発生した豪雨災害により林道の路面が崩落。崩れた箇所にL型擁壁を設置し、盛土工、路盤工、表層工により復旧するもので、復旧延長12m、幅4m、プレキャスト擁壁工延長10m、舗装工39㎡となります。 ・ 土木一般のB・C・Dランクで町内本社要件となっています。3社のうち2社が三川地域の業者です。施工場所も他地域の業者からすると距離の問題があるのかもしれない。

意見・質問等	回答等
<p>⑤ 汚泥再生センター基幹改良(機械設備)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域要件が新潟県内の本社、営業所となっていて、2億円レベルの工事で1社だけというのは。 なぜ最初の2社は今回の入札に参加しなかったのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本工事は、経年による施設の老朽化が著しく、今後の維持管理について経費節減をはじめ効率的な運営を図っていく方針から、下水道放流型の前処理施設の移行に伴い実施するものです。具体的には、汚泥脱水機の更新1基、下水道放流ポンプの新設2台、高・中濃度脱臭装置の新設1基、監視用・遠隔操作用コンピュータ設置1基となっています。 この工事については、以前に一度入札しており、その際は県内要件で3社の参加がありましたが、今回落札した業者が当時死亡事故を起こし入札を辞退した経緯があり、結果、落札者がありませんでした。金額もかなり離れていたこともあり、担当課に設計の見直しを求め、今回の入札となりましたが、最初の2社の参加はありませんでした。 当初の入札で落札者がなかったため、設計の見直しをしましたが、令和2年度、3年度の予算の中で工事を実施しなければならなかったこともあり、併せて要件を満たす技術者の配置が難しい時期でもあったため1社のみ参加だったと考えられます。
<p>⑥ 船戸簡易水道 計装機器修繕【随意契約】</p> <ul style="list-style-type: none"> この機器の修繕は同じところを以前にもやっているでしょう これまでは、このようなことがなかったのでしょうか。 この契約のほとんどの部分が機器なんですけど、あるメーカーの関連会社なんですよ。機器はこのメーカーのものですか。 町の設計額と業者の見積額で比較すると諸経費に差があるのに、最終的な合計金額が同じになっているのは。 	<ul style="list-style-type: none"> この船戸簡易水道は、三川地区の一部をカバーしている施設であり、計画給水人口325人規模の施設です。修繕内容は落雷により浄水場の残留塩素計の表示がばらつき安定しないため交換、また配水池の水位計と水位計避雷器を交換するものです。随意契約の理由としては、三川地区の簡易水道施設は落札業者に監視システムサーバーの保守管理を委託しており、機器を交換する際の電気通信設定等において機器に精通していることが理由であります。 今回は落雷が原因です。広範囲に影響を及ぼす落雷サージにより機器が故障し、修理、交換することになりました。 同じような施設では、落雷による被害は多くあります。 設計書等の資料ではメーカー名は出てこないようです。 千円以下の金額を丸めていることによるものだと思います。
<p>(4) 令和2年度 請負工事落札状況(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の請負工事落札状況として落札回数が多い順の請負業者一覧です。傾向としては衛生設備や電気設備業者の落札が多く、主に新型コロナウイルス感染症対策事業での随意契約による公共施設の衛生設備改修工事等が要因であったものと考えられます。 また、業種、工事名、契約方法、契約金額等を請負業者別にまとめたものです。入札監視委員会では設計額130万円以上の請負工事にかかる制限付き一般競争入札、指名競争入札及び随意契約について審議いただいておりますが、設計額が130万円未満のものを含まないとかなりの数の件数になっています。 (質問がないようなので)以上で審議案件を終了します。 	

意見・質問等	回答等
<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 任期満了に伴う入札監視委員会委員について現在の委員全員に引き続き引き受けていただいたことから委嘱状が副町長より交付された。 ・ 次回の委員会開催についても指名停止等特段の事案がなければ例年通り秋に開催することで了承された。 ・ (全体を通じた質問で)以前問題になった汚泥再生センターの運転業務委託の関係について、その後のことをもう少しお話を聞かせていただければ。 ・ ほか、特になければこれで委員会を終了します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年、汚泥再生センターの委託契約の関係で落札業者が指名停止となったわけですが、それを踏まえまして来年度の入札については以前の指名競争入札から制限付き一般競争入札に変更しています。また、技術者の配置や落札後の資格審査の実施等の要件を加え、確実に業務を実施できるような内容で公告しております。 ・ ありがとうございました。